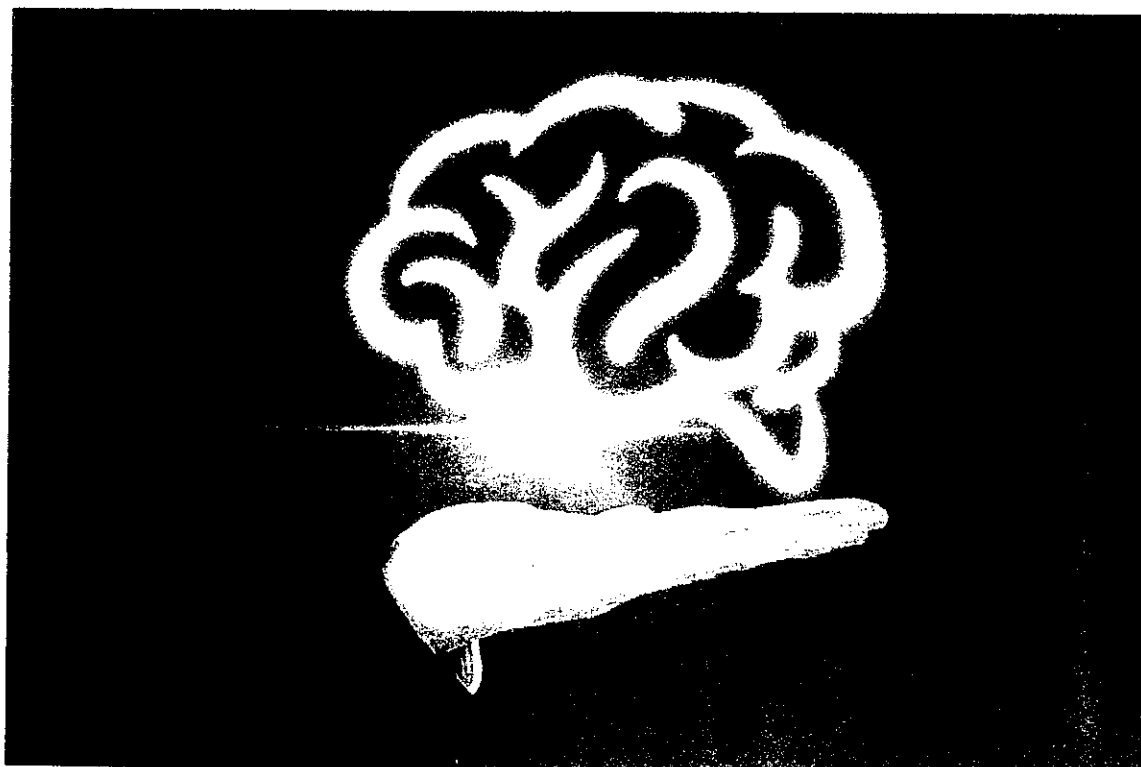


■ 評論

思考ツールを活用して情報を整理し
要旨をまとめよう



2年	名前
組 番	

○単元名 思考ツールを活用して情報を整理し要旨をまとめよう

○単元の目標

思考ツールを活用して、情報と情報との関係について理解するとともに、評論の内容や構成、論点を的確にしなから要旨をまとめること。

I 導入の学習

○思考ツールとは 教科書P166～P167

・情報の視覚化

・視覚化の方法

・図で読みを深める 例 P163 環境倫理と環境道徳

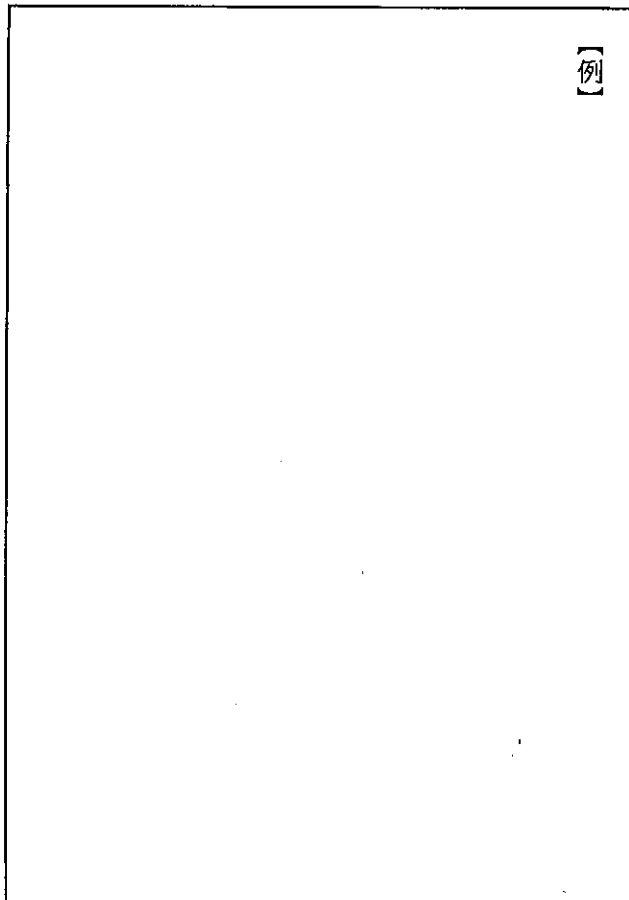
【メモ】

解説 思考ツール

○ 日常に思考ツールが使われているところはありますか？

- ① 分類する (マトリックス)
- ② 関連する (イメージマップ)
- ③ 比較する (ベン図)
- ④ 位置づける (座標軸)

【例】



【メモ】

① 分類する (マトリックス)

分類する

	A	B	C
1			
2			
3			

【マトリックス】対象の要素を表組の縦と横の視点から分類する。対象の特徴を細かく把握できる。

〈例題①〉

下記の文章をマトリックスでまとめてみよう。

イネには、粒の短いジャポニカと、粒の長いインディカの二種類がある。日本で主に食べられているのはジャポニカで、海外で主に食べられているのはインディカである。

ジャポニカは、一般的にもちもちしていて粘り気があるのが特徴だが、インディカはパサパサしている。これは、米に含まれるアミロースというデンプンの量が関係している。アミロース含量の低いものは粘り気があるのに対して、アミロース含量の高いものはパサパサするのである。

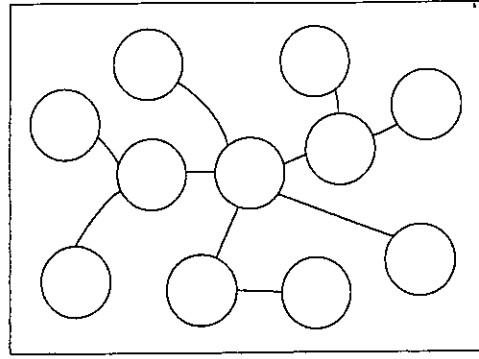
ジャポニカ米は粘り気があるので、箸で持つことができる。ジャポニカを栽培する日本と韓国と中国は、いずれも箸を使う文化を持つ国である。一方、パサパサしたインディカは、箸で持つことができない。そのため、インディカを栽培する地域では、手やスプーンで食べる人が多い。また、日本のようにジャポニカを食べる地域では米を炊くのに対して、インディカ米を食べる地域では米をゆでこぼして調理するところが多い。米を炊くともちもちした食感になるが、ゆでこぼすとパサパサした食感になる。ジャポニカを食べる地域では、よりもちもちした食感になる調理法を、インディカを食べる地域では、よりパサパサした食感になる調理法を選んでるのである。

『米の種類と食文化』 稲垣栄洋

【メモ】

② 関連する (イメージマップ)

関連づける



【イメージマップ】複数の対象がどのような関係にあるかを考え、さらに関係のあるものを見つけ、つなげていく。

〈例題②〉

下記の文章をイメージマップでまとめてみよう。

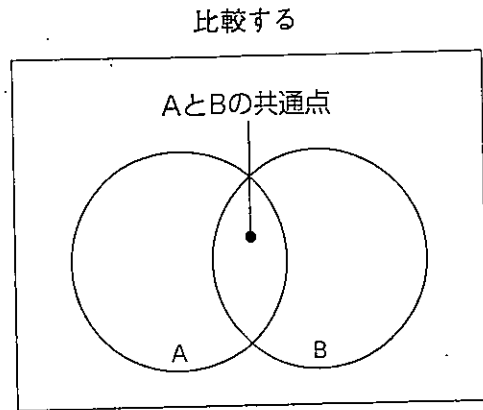
ことばってすごいなあ、と素朴に関心するのですが、ひとつのことばは他のことばと互いに関連しあっている。「空」ということばと「雲」ということばは関連しあっていて、「雲」は「雨」と関連しあっている。

こうしたことばとことばの関係は、もちろん、文と文の関係でもあります。たとえば「雨が降ってきた。」ということは「上空から水滴が落ちてきた。」ことを意味上含みますし、「にわか雨が降ってきた。」と言えばその水滴の落下はそれほど長くは続かないということとを意味上含むわけです(「一週間にわか雨が降り続いた。」などということはありえません)。「あたりまえじゃないですか」と言われそうですが、そしてたしかにあたりまえなのですが、実に、これが「論理」なのです。

(『「論理的な人」とはどういう人か』野矢茂樹)

【メモ】

③ 比較する (ベン図)



【ベン図】 対象どうしの共通点・相違点を整理できる。円の数を増やすことで、三つ以上の対象を比較することもできる。

〈例題③〉

下記の文章をベン図でまとめてみよう。

子供に対して人間とライオンを比較して説明してくださいと言われたら、みなさんならどうしますか。

私だったら、まずは人間ならではの特徴を伝えます。人間の最大の特徴と言えば、やはり言葉を使うことではないでしょうか。ライオンと同じほ乳類ではありますが、言語を巧みに操るのは私たちの特権ですね。そのほかにも、例えば服を着るとか、いくつかあげられそうです。

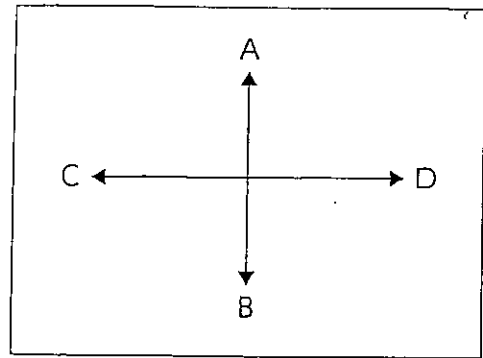
一方で、人間にはなくてライオンにはあることもあげられそうです。例えば、しっぽ。人間にはありませんね。四本足で歩くのも、二足歩行の人間とは異なる点です。

違いを説明すれば、子供に対しての説明として満足しているのでしょうか。あともう一つ、大事な観点がありますね。そう、共通点です。違いだけではなくて、共通する点も説明したいですね。例えば、肉を食べるとかはどうでしょうか。そのほかにもたくさんあるはずです。みなさんぜひ考えてみてくださいね。

【メモ】

④ 位置づける (座標軸)

位置づける



【座標軸】縦軸・横軸の内容を決め、上下・左右に互いに相対的な視点を定める。複数の対象を、それぞれ対応する場所に配置する。

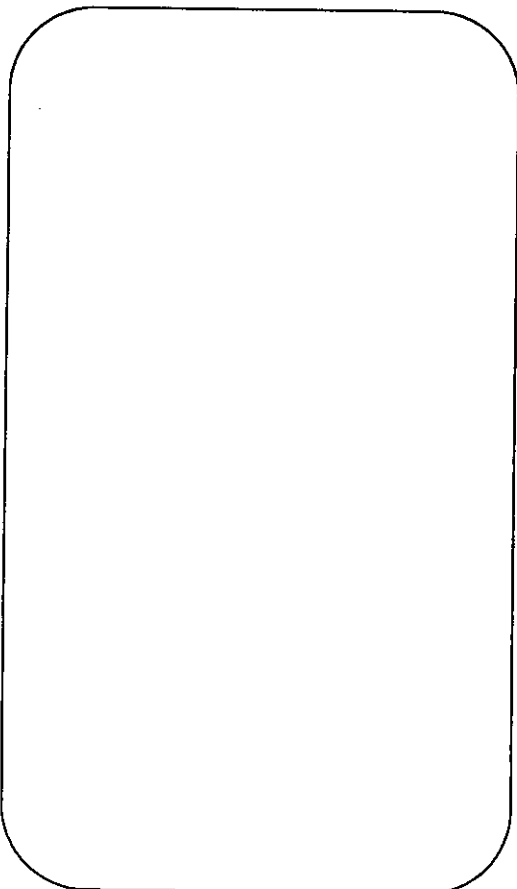
〈例題④〉

下記の文章を座標軸でまとめてみよう。

「きずな」と聞いて、どんなイメージを持つだろうか。愛、つながり、博愛など、人間賛歌的なプラスのイメージがあるだろう。しかし、「きずな」という言葉には実は様々な受け取り方が存在している。例えば、村社会はどうだろうか。あるいは、動物をつなぐ綱はどうだろうか。「きずな」という言葉には、不自由さ、束縛など、マイナスなイメージを浮かべる人がいてもおかしくはない。

それらの「きずな」から連想される言葉には、もう一つの要素が存在している。それは、その言葉の持つ対象の範囲である。広いのか、狭いのか。束縛という言葉からは窮屈さを感じる。村社会や、動物をつなぐ綱もそうだ。一方で、愛はどうだろうか。つながりは、博愛は、どうだろうか。その範囲は広いのか、狭いのか、自分なりに考えてみる必要があるかもしれない。

○ 思考ツールを活用するメリットを言語化しよう。



Ⅱ 要旨をまとめる活動

〈手順〉 評論〈近代〉の入口と出口の間 (P80～88)

- ① 読み直して復習をしよう
- ② 要旨としてまとめる段落を決めよう
- ③ 構想を練ろう
- ④ 思考ツールを活用し文章と図・表で要旨をまとめよう

「 段落 思考ツール 」

〈構想メモ〉

2年 組 番 氏名

【観点】 思考・判断・表現

A	B	C
思考ツールを通じて情報と情報との関係が明瞭に表現されて、その表・図によって評論の内容や構成、論点がよりの確にまとめられている。	思考ツールを活用して、情報と情報との関係を整理して、評論の内容や構成、論点を的確にしながらまとめている。	思考ツールをうまく活用できておらず、また評論の内容や構成、論点が曖昧のまま、まとめられている。

○ クラスメイトの作品を鑑賞しよう

【メモ】

Ⅲ 最終課題

(一) 要旨をまとめることに思考ツールを活用できましたか。

はい 〇 いいえ 〇 どちらともいえない

〈理由〉

○ 共有しよう

Ⅳ 振り返り活動 (クラスルームから回答してください)

① 単元の目標は達成できましたか、理由とともに記述してください。

② 単元を通じて、新たに発見したことや自己の考えが深まったことを記述してください。また、この学びを今後どのようにいかしていくのか、記述してください。

③ 自由記述欄 (記入は任意です。授業を終えた感想や担当教員へ伝えたいことなどを記述してください。)